

明治安田DCグローバルバランスオープン(愛称:DC五穀豊穣)

◆ファンドの特色

元本確保型の商品ではありません

- ・主な投資対象・・・国内株式、国内債券、外国株式、外国債券
- ・参考指数・・・標準的資産配分比率(当社が長期的に想定する標準的な資産配分割合)に応じて個別資産のベンチマークを組み合わせた指数
 投資対象の各ベンチマークは以下の通りです。国内株式: TOPIX(東証株価指数)、国内債券: NOMURA-BPI総合、外国株式: MSCI-KOKUSAI指数(配当込み、ヘッジなし・円換算値)、外国債券: FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)
- ・目標とする運用成果・・・信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、運用を行います。

◆基準価額、純資産総額

基準価額	19,945円
純資産総額	33億円

◆分配金の実績

第15期	第16期	第17期	第18期	第19期	設定来
0円	0円	0円	0円	0円	30円

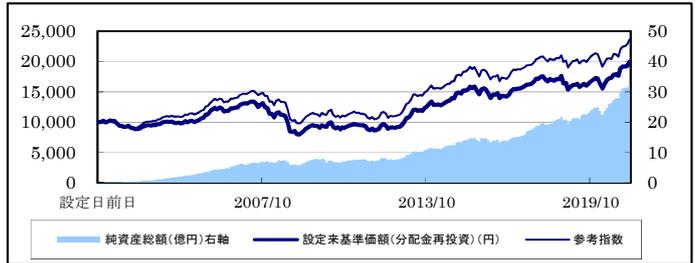
※分配金は10,000円あたりの金額(円)。分配金は増減したり、支払われないことがあります。

◆資産構成

ファンド	標準的資産配分比率	変動範囲
国内株式	37.7%	±15%
国内債券	23.6%	±15%
外国株式	19.3%	±10%
外国債券	14.0%	±10%
短期資産	5.4%	—
合計	100.0%	—

※マザーファンドへの投資を通じた対純資産総額の比率です。

◆基準価額の推移グラフ



※参考指数は設定日前日(2001年11月29日)を10,000として指数化
 ※設定来基準価額(分配金再投資)は信託報酬控除後のものであり、分配金を再投資したものと見做す
 ※グラフは月末値

◆為替ヘッジ

為替ヘッジ比率	—
---------	---

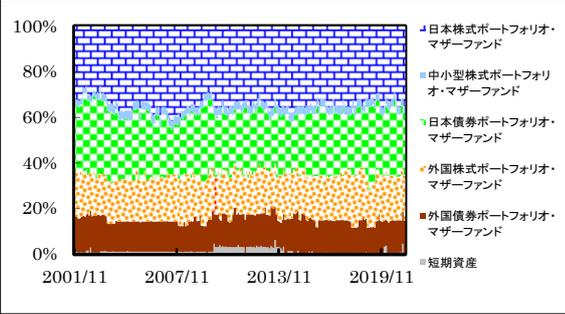
◆ファンド(分配金再投資)と参考指数の収益率とリスク(標準偏差)

	3カ月間	6カ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率(分配金再投資)	4.12%	11.72%	28.64%	6.15%	6.54%	7.66%	3.65%
参考指数収益率	5.26%	11.68%	23.49%	5.72%	6.15%	7.46%	4.52%
差異	-1.14%	0.04%	5.15%	0.43%	0.39%	0.20%	-0.87%
ファンドリスク(分配金再投資)	—	—	8.23%	10.27%	9.05%	9.88%	10.32%
参考指数リスク	—	—	7.98%	9.43%	8.45%	9.24%	9.53%

※ファンドの収益率は、原則として年換算して表示しますが、1年に満たないものについては年換算していません。

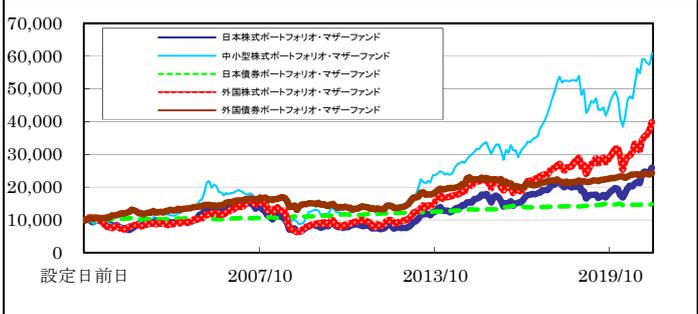
※ファンド(分配金再投資)の収益率とは、当ファンドの決算時に収益の分配金があった場合に、その分配金で当ファンドを購入(再投資)した場合の収益率です。

◆各マザーファンド組入比率の推移



※対純資産総額
 ※グラフは月末値

◆各マザーファンド基準価額推移



※マザーファンドの基準価額は設定日前日(2001年11月29日)を10,000として指数化
 ※グラフは月末値

◆過去3カ月間のパフォーマンス分析

当ファンドと参考指数の過去3カ月間の収益率の差異は-1.14%となりました。当ファンドに組み入れております5本のマザーファンドの3カ月間の収益率は、日本株式ポートフォリオ・マザーが+4.67%、中小型株式ポートフォリオ・マザーが+3.06%、日本債券ポートフォリオ・マザーが+0.18%、外国株式ポートフォリオ・マザーが+12.40%、外国債券ポートフォリオ・マザーが+1.14%となりました。当ファンドの過去3カ月間における各資産の配分比率は、1月は国内株式:38%、国内債券(含む短期金融資産等):29%、外国株式:22%、外国債券:11%、2月は国内株式:35%、国内債券(含む短期金融資産等):29%、外国株式:22%、外国債券:14%、3月は国内株式:35%、国内債券(含む短期金融資産等):32%、外国株式:19%、外国債券:14%として運用を行いました。資産配分要因(1~2月の外国株式のオーバーウェイト)はプラスに寄与しましたが、個別資産要因(日本株式ポートフォリオ・マザーおよび外国株式ポートフォリオ・マザーがベンチマークの収益率を下回った)がマイナスに影響したことから、当ファンドと参考指数の収益率の差異はマイナスとなりました。

■当資料は、法令に基づく開示資料ではありません。■「明治安田DCグローバルバランスオープン」の受益権の募集については、委託会社は、法令の規定により有価証券届出書を関東財務局長に提出し、その届出の効力は発生しております。■当資料は、確定拠出年金法第24条および関連政令に規定されている「運用の方法に係る情報の提供」に基づき、加入者のみなさまに対して、当商品の内容をご説明するために作成されたものであり、当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、株式など値動きのある証券等(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金および運用成果が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。■当資料は、明治安田アセットマネジメントが信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。■TOPIX(東証株価指数)、NOMURA-BPI総合、MSCI-KOKUSAI指数、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利は株式会社東京証券取引所、野村證券株式会社、MSCI Inc.、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

明治安田日本株式ポートフォリオ・マザーファンド

◆ファンドの特色

元本確保型の商品ではありません

- ・主な投資対象 国内株式
- ・ベンチマーク TOPIX（東証株価指数）
- ・目標とする運用成果 ベンチマークを上回る運用成果を目指します

◆基準価額、純資産総額

基準価額	17,490円
純資産総額	6,530百万円

◆基準価額の推移グラフ



◆資産構成

株式	98.4%
一部上場	98.4%
二部上場	—
地方単独	—
その他	—
株式先物	—
株式実質	98.4%
現金等	1.6%

※上記数値は純資産総額に対する比率です。

◆ファンドとベンチマークの収益率とリスク（標準偏差）

	3カ月間	6カ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率	4.67%	20.12%	53.46%	9.09%	11.39%	11.99%	2.70%
ベンチマーク収益率	8.27%	20.21%	39.27%	4.42%	7.72%	8.44%	0.97%
差異	-3.60%	-0.09%	14.19%	4.67%	3.67%	3.55%	1.73%
ファンドリスク	-----	-----	15.52%	17.90%	15.66%	17.01%	17.78%
ベンチマークリスク	-----	-----	15.51%	17.22%	15.24%	16.60%	17.43%

※ファンド、ベンチマークの収益率は原則として年換算して表示しますが、1年に満たないものについては年換算していません。

◆株式組入上位10業種

日本株式ポートフォリオ・マザー

業種	組入比率	ベンチマークのウェイト
1 電気機器	22.40%	17.47%
2 情報・通信業	10.47%	9.22%
3 輸送用機器	7.75%	7.36%
4 サービス業	7.68%	5.59%
5 機械	6.76%	5.67%
6 化学	6.59%	7.38%
7 精密機器	5.89%	2.54%
8 医薬品	5.65%	5.51%
9 銀行業	4.85%	5.16%
10 小売業	4.22%	4.70%

※組入比率は純資産総額に対する比率です。

◆株式組入上位10銘柄

日本株式ポートフォリオ・マザー（組入銘柄数 55）

銘柄名	組入比率	ベンチマークのウェイト
1 トヨタ自動車	4.25%	3.26%
2 アドバンテスト	3.82%	0.27%
3 東京エレクトロン	3.37%	1.02%
4 日本M&Aセンター	3.03%	0.18%
5 ソニー	2.84%	2.71%
6 信越化学工業	2.74%	1.26%
7 村田製作所	2.71%	0.97%
8 伊藤忠商事	2.65%	0.92%
9 三菱UFJフィナンシャル・グループ	2.45%	1.49%
10 エムスリー	2.45%	0.48%

※組入比率は純資産総額に対する比率です。

◆過去3カ月間のパフォーマンス分析

当マザーファンドとベンチマークの過去3カ月間の収益率の差異は-3.60%でした。投資行動としては、銘柄の入れ替えは行わず、前月末のポートフォリオを継続しました。業種別の組入状況は電気機器、精密機器、サービス業などの組入比率をベンチマーク比で高く、陸運業、食料品、電気・ガス業などの組入比率を低くしました。ベンチマーク収益率との差異を分解すると業種選択効果、銘柄選択効果がともにマイナスに影響しました。業種選択効果については食料品、金属製品、陸運業などがプラスに寄りましたが、精密機器、鉄鋼、ゴム製品などがマイナスに影響し、全体ではマイナスに影響しました。銘柄選択効果については銀行業、陸運業、電気機器などで組み入れた銘柄がプラスに寄りましたが、サービス業、情報・通信業、化学などで組み入れた銘柄がマイナスに影響し、全体ではマイナスに影響しました。業種選択効果、銘柄選択効果がともにマイナスに影響したことなどからファンド全体の収益率はベンチマークを下回りました。

■当資料は、法令に基づく開示資料ではありません。■「明治安田DCグローバルバランスオープン」の受益権の募集については、委託会社は、法令の規定により有価証券届出書を関東財務局長に提出し、その届出の効力は発生しております。■当資料は、確定拠出年金法第24条および関連政省令に規定されている「運用の方法に係る情報の提供」に基づき、加入者のみなさまに対して、「明治安田DCグローバルバランスオープン」の内容をご説明するために作成されたものであり、当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、株式など値動きのある証券等（外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金および運用成果が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。■当資料は、明治安田アセットマネジメントが信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。■TOPIX（東証株価指数）に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利は株式会社東京証券取引所に帰属します。

明治安田中小型株式ポートフォリオ・マザーファンド

◆ファンドの特色

元本確保型の商品ではありません

- ・主な投資対象 国内株式
- ・ベンチマーク なし
- ・目標とする運用成果 わが国の中小型株式に投資し、信託財産の成長をめざして積極的な運用を行います

※当ファンドのベンチマークは目論見書等に定めていません。

◆基準価額、純資産総額

基準価額	36,844円
純資産総額	3,838百万円

◆基準価額の推移グラフ



◆資産構成

株式	95.7%
一部上場	76.8%
二部上場	1.6%
地方単独	—
その他	17.3%
株式先物	—
株式実質	95.7%
現金等	4.3%

※上記数値は純資産総額に対する比率です。

◆ファンドとベンチマークの収益率とリスク（標準偏差）

	3カ月間	6カ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率	3.06%	8.21%	58.16%	5.02%	14.17%	15.87%	6.41%
ベンチマーク収益率	—	—	—	—	—	—	—
差異	—	—	—	—	—	—	—
ファンドリスク	—	—	18.60%	20.91%	18.15%	17.14%	19.73%
ベンチマークリスク	—	—	—	—	—	—	—

※ファンド、ベンチマークの収益率は原則として年換算して表示しますが、1年に満たないものについては年換算していません。

◆株式組入上位10業種

中小型株式ポートフォリオ・マザー

	業種	組入比率
1	情報・通信業	22.44%
2	電気機器	13.25%
3	サービス業	9.97%
4	化学	7.94%
5	その他製品	6.49%
6	卸売業	4.96%
7	機械	4.80%
8	小売業	4.39%
9	保険業	3.04%
10	繊維製品	2.62%

※組入比率は純資産総額に対する比率です。

◆株式組入上位10銘柄

中小型株式ポートフォリオ・マザー（組入銘柄数 80）

	銘柄名	組入比率
1	ラクーンホールディングス	4.11%
2	ライト工業	2.59%
3	デジタルガレージ	2.41%
4	コプロ・ホールディングス	2.28%
5	JMDC	2.12%
6	SREホールディングス	2.02%
7	NECネットエスアイ	1.98%
8	ゴールドウイン	1.97%
9	ファンケル	1.90%
10	エフピコ	1.88%

※組入比率は純資産総額に対する比率です。

■当資料は、法令に基づく開示資料ではありません。■「明治安田DCグローバルバランスオープン」の受益権の募集については、委託会社は、法令の規定により有価証券届出書を関東財務局長に提出し、その届出の効力は発生しております。■当資料は、確定拠出年金法第24条および関連政省令に規定されている「運用の方法に係る情報の提供」に基づき、加入者のみなさまに対して、「明治安田DCグローバルバランスオープン」の内容をご説明するために作成されたものであり、当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、株式など値動きのある証券等（外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金および運用成果が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。■当資料は、明治安田アセットマネジメントが信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

明治安田日本債券ポートフォリオ・マザーファンド

◆ファンドの特色

元本確保型の商品ではありません

- ・主な投資対象国内債券
- ・ベンチマークNOMURA-BPI総合
- ・目標とする運用成果ベンチマークを上回る運用成果を目指します

◆基準価額、純資産総額

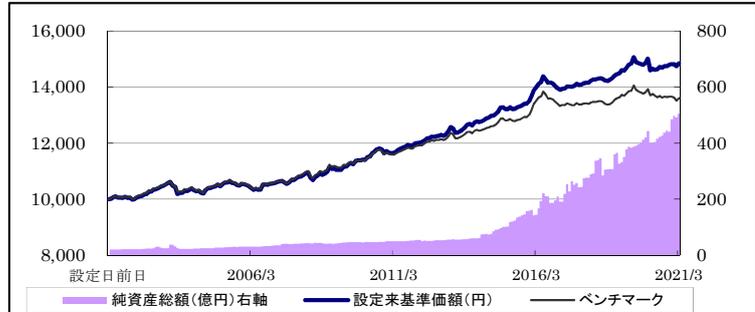
基準価額	14,848円
純資産総額	504億円

◆資産構成

債券	85.8%
債券先物	—
債券実質	85.8%
現金等	14.2%

※上記数値は純資産総額に対する比率です。

◆基準価額の推移グラフ



※ベンチマーク (NOMURA-BPI総合指数) は設定日前日 (2001年4月10日) を10,000として指数化
 ※グラフは月末値

◆ポートフォリオプロフィール

	ファンド	ベンチマーク
残存年数	10.45年	9.89年
デュレーション	9.78年	9.36年
複利回り	0.73%	0.14%

◆ファンドとベンチマークの収益率とリスク (標準偏差)

	3カ月間	6カ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率	0.18%	0.73%	1.71%	1.33%	1.19%	2.46%	2.00%
ベンチマーク収益率	-0.38%	-0.39%	-0.70%	0.33%	0.15%	1.62%	1.55%
差異	0.56%	1.12%	2.41%	1.00%	1.04%	0.84%	0.45%
ファンドリスク	---	---	1.24%	2.38%	2.16%	1.92%	2.01%
ベンチマークリスク	---	---	1.52%	1.99%	1.91%	1.79%	1.90%

※ファンド、ベンチマークの収益率は、原則として年換算して表示しますが、1年に満たないものについては年換算していません。

◆公社債種別構成比

種別	組入比率
国債	26.76%
政保債	0.00%
地方債	1.58%
金融債	0.00%
事業債等	57.41%

※組入比率は純資産総額に対する比率です。

◆公社債組入上位10銘柄

銘柄名	組入比率	残存年数
1 第1回武田薬品工業無担保社債 (劣後特約付)	5.10%	3.52年
2 第2回ヒューリック無担保社債 (劣後特約付)	4.02%	4.25年
3 第175回利付国債20年	4.00%	19.72年
4 第69回利付国債30年	3.60%	29.72年
5 第1回ドンキホーテホールディングス無担保社債 (劣後特約付)	3.23%	2.67年
6 第1回アサヒグループホールディングス無担保社債 (劣後特約付)	2.99%	4.54年
7 第2回かんぽ生命無担保社債 (劣後特約付)	2.97%	9.83年
8 第3回九州電力無担保社債 (劣後特約付)	2.86%	9.54年
9 第422回利付国債2年	2.47%	1.92年
10 第1回住友化学無担保社債 (劣後特約付)	2.20%	8.70年

※組入比率は純資産総額に対する比率です。

◆公社債残存年数別構成比

残存年数	組入比率
1年未満	1.01%
1~3年	12.93%
3~7年	28.88%
7~10年	14.97%
10年以上	27.97%

※組入比率は純資産総額に対する比率です。

◆過去3カ月間のパフォーマンス分析

当マザーファンドとベンチマークの過去3カ月間の収益率の差異は+0.56%となりました。1月~3月の投資行動を戦略別に説明します。ベンチマークに対し、デュレーション(投資元本の平均回収期間)は機動的に調整しつつ、1月末はほぼ中立、2月末および3月末は長期化としました。保有債券の年限別構成は年限間の割合・割合に着目したポートフォリオ構成としました。種別選択は事業債・円建外債などをオーバーウェイトとしました。パフォーマンスについては、プラス要因として金利選択(1月~2月)、種別選択(1月~3月)、銘柄選択(1月~3月)などが挙げられます。

■当資料は、法令に基づく開示資料ではありません。■「明治安田DCグローバルバランスオープン」の受益権の募集については、委託会社は、法令の規定により有価証券届出書を関東財務局長に提出し、その届出の効力は発生しております。■当資料は、確定拠出年金法第24条および関連政省令に規定されている「運用の方法に係る情報の提供」に基づき、加入者のみなさまに対して、「明治安田DCグローバルバランスオープン」の内容をご説明するために作成されたものであり、当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、株式など値動きのある証券等(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金および運用成果が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。■当資料は、明治安田アセットマネジメントが信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。■NOMURA-BPI総合に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。

明治安田外国株式ポートフォリオ・マザーファンド

◆ファンドの特色

元本確保型の商品ではありません

- ・主な投資対象 . . . 外国株式
- ・ベンチマーク . . . MSCI-KOKUSAI指数（配当込み、ヘッジなし・円換算値）
- ・目標とする運用成果 . . . ベンチマークを上回る運用成果を目指します

◆基準価額、純資産総額

基準価額	35,294円
純資産総額	210億円

◆資産構成

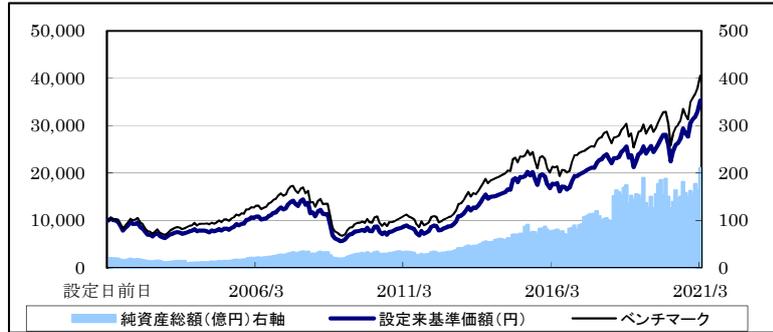
株式	97.2%
株式先物	1.9%
株式実質	99.0%
現金等	1.0%

※上記数値は純資産総額に対する比率です。

◆為替ヘッジ

為替ヘッジ比率	—
---------	---

◆基準価額の推移グラフ



※ベンチマーク（MSCI-KOKUSAI指数（配当込み、円換算値））は設定日前日（2001年4月10日）を10,000として指数化
 ※グラフは月末値

◆ファンドとベンチマークの収益率とリスク（標準偏差）

	3カ月間	6カ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率	12.40%	24.36%	56.96%	16.87%	14.78%	14.95%	6.51%
ベンチマーク収益率	12.66%	25.77%	56.90%	15.49%	13.71%	13.93%	7.25%
差異	-0.26%	-1.41%	0.06%	1.38%	1.07%	1.02%	-0.74%
ファンドリスク	-----	-----	15.15%	18.96%	16.63%	17.78%	19.26%
ベンチマークリスク	-----	-----	15.80%	19.46%	17.11%	17.96%	19.26%

※ファンド、ベンチマークの収益率は、原則として年換算して表示しますが、1年に満たないものについては年換算していません。

◆株式国別配分上位

国	組入比率
1 アメリカ	69.97%
2 フランス	5.70%
3 ドイツ	3.34%
4 スイス	3.10%
5 オランダ	2.94%
6 スウェーデン	2.26%
7 カナダ	1.83%
8 オーストラリア	1.68%
9 香港・中国	1.60%
10 イギリス	1.43%

※組入比率は純資産総額に対する比率です。香港上場の香港株および中国株の国は「香港・中国」としています。

◆株式組入上位10業種

業種	組入比率
1 ソフトウェア・サービス	11.26%
2 資本財	7.56%
3 メディア・娯楽	7.11%
4 小売	6.42%
5 素材	6.38%
6 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	6.10%
7 ヘルスケア機器・サービス	5.97%
8 各種金融	5.68%
9 銀行	5.62%
10 テクノロジー・ハードウェアおよび機器	5.12%

※組入比率は純資産総額に対する比率です。

◆株式組入上位10銘柄

(組入総銘柄数 105)

銘柄名	組入比率	国
1 MICROSOFT CORP	5.02%	アメリカ
2 APPLE INC	3.69%	アメリカ
3 ALPHABET INC-CL A	3.61%	アメリカ
4 AMAZON.COM INC	2.88%	アメリカ
5 ASML HOLDING NV	1.93%	オランダ
6 VISA INC-CLASS A SHARES	1.86%	アメリカ
7 UNITEDHEALTH GROUP INC	1.82%	アメリカ
8 JPMORGAN CHASE & CO	1.68%	アメリカ
9 NEXTERA ENERGY INC	1.58%	アメリカ
10 ACCENTURE PLC-CL A	1.57%	アメリカ

※組入比率は純資産総額に対する比率です。

◆過去3カ月間のパフォーマンス分析

当マザーファンドとベンチマークの過去3カ月間の収益率の差異は-0.26%となりました。収益率の差異を国選択効果、銘柄選択効果に分けると、国選択効果はプラスに寄与し、銘柄選択効果はマイナスに影響しました。国選択効果については、カナダのアンダーウェイトなどはマイナスに影響しましたが、デンマークのアンダーウェイトなどがプラスに寄与し、国選択効果全体ではプラスとなりました。銘柄選択効果については、フランス（銘柄名：ソシエテ・ジェネラル、業種：銀行）などで組み入れた銘柄がプラスに寄与しましたが、アメリカ（銘柄名：メルカドリブレ、業種：小売）、香港・中国（銘柄名：TALエデュケーション・グループ、業種：消費者サービス）などで組み入れた銘柄がマイナスに影響し、銘柄選択効果全体ではマイナスとなりました。国選択効果はプラスに寄与しましたが、銘柄選択効果がマイナスに影響した結果、収益率の差異はマイナスとなりました。

■当資料は、法令に基づく開示資料ではありません。■「明治安田DCグローバルバランスオープン」の受益権の募集については、委託会社は、法令の規定により有価証券届出書を関東財務局長に提出し、その届出の効力は発生しております。■当資料は、確定拠出年金法第24条および関連政省令に規定されている「運用の方法に係る情報の提供」に基づき、加入者のみなさまに対して、「明治安田DCグローバルバランスオープン」の内容をご説明するために作成されたものであり、当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、株式など値動きのある証券等（外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金および運用成果が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。■当資料は、明治安田アセットマネジメントが信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。■MSCI-KOKUSAI指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。

明治安田外国債券ポートフォリオ・マザーファンド

元本確保型の商品ではありません

◆ファンドの特色

- ・主な投資対象 外国債券
- ・ベンチマーク FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
- ・目標とする運用成果 ベンチマークを上回る運用成果を目指します

◆基準価額、純資産総額

基準価額	25.176円
純資産総額	222億円

◆資産構成

債券	98.3%
債券先物	—
債券実質	98.3%
現金等	1.7%

※上記数値は純資産総額に対する比率です。

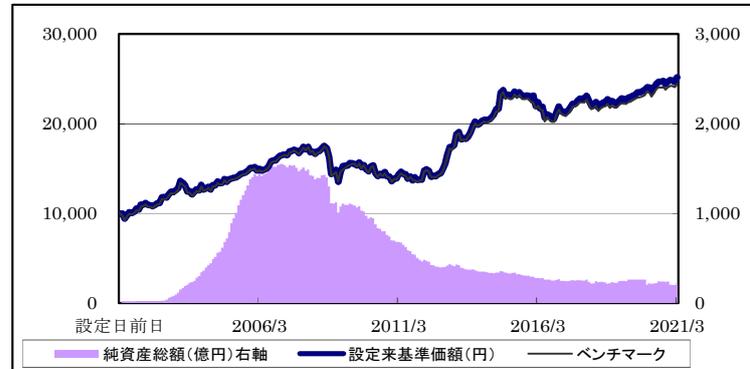
◆為替ヘッジ

為替ヘッジ比率	—
---------	---

◆ポートフォリオプロフィール

	ファンド	ベンチマーク
残存年数	9.00年	8.98年
デュレーション	7.99年	7.90年
複利回り	0.73%	0.62%

◆基準価額の推移グラフ



※ベンチマーク（FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は設定日前日（2001年4月10日）を10,000として指数化

※グラフは月末値

◆ファンドとベンチマークの収益率とリスク（標準偏差）

	3カ月間	6カ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率	1.14%	1.64%	4.71%	4.39%	2.36%	5.79%	4.72%
ベンチマーク収益率	0.76%	1.26%	4.27%	3.97%	2.12%	5.60%	4.57%
差異	0.38%	0.38%	0.44%	0.42%	0.24%	0.19%	0.15%
ファンドリスク	-----	-----	4.36%	3.83%	5.46%	7.63%	8.72%
ベンチマークリスク	-----	-----	3.92%	3.69%	5.34%	7.43%	8.64%

※ファンド、ベンチマークの収益率は、原則として年換算して表示しますが、1年に満たないものについては年換算していません。

◆公社債通貨別構成比

通貨	組入比率
1 米ドル	45.26%
2 ユーロ	38.54%
3 ボンド	6.40%
4 カナダドル	2.46%
5 オーストラリアドル	2.18%
その他	3.52%

※組入比率は純資産総額に対する比率です。

◆公社債残存年数別構成比

残存年数	組入比率
1年未満	4.41%
1～3年	12.43%
3～7年	28.34%
7～10年	31.67%
10年以上	21.49%

※組入比率は純資産総額に対する比率です。

◆公社債組入上位10銘柄

銘柄名	組入比率	通貨	残存年数
1 US TREASURY N/B 2% 24/5/31	6.85%	米ドル	3.17年
2 US TREASURY N/B 6% 26/2/15	3.76%	米ドル	4.88年
3 US TREASURY N/B 0.625% 30/8/15	3.73%	米ドル	9.38年
4 IRISH GOVT 0.9% 28/5/15	3.72%	ユーロ	7.12年
5 UK TSY GILT 1.75% 49/1/22	3.50%	ポンド	27.81年
6 SPANISH GOV T 2.75% 24/10/31	2.97%	ユーロ	3.59年
7 BTPS 5.25% 29/11/1	2.85%	ユーロ	8.59年
8 FRANCE O.A.T. 0.5% 29/5/25	2.72%	ユーロ	8.15年
9 US TREASURY N/B 0.875% 30/11/15	2.70%	米ドル	9.63年
10 US TREASURY N/B 0.375% 22/3/31	2.66%	米ドル	1.00年

※組入比率は純資産総額に対する比率です。

◆過去3カ月間のパフォーマンス分析

当マザーファンドとベンチマークの過去3カ月間の収益率の差異は+0.38%となりました。1月～3月の投資行動を戦略別に説明します。ベンチマークに対して、デュレーションは個別には機動的に調整しつつ、ポートフォリオ全体で3月末は小幅に長期化としました。通貨別配分は12月末は、ユーロ、メキシコペソ、スウェーデンクローナをオーバーウェイト、米ドル、デンマーククローナをアンダーウェイトとしましたが、3月末は米ドル、カナダドル、ノルウェークローナをオーバーウェイト、ユーロ、デンマーククローナ、シンガポールドルをアンダーウェイトとしました。パフォーマンスについては、プラス要因として通貨選択、金利選択、ベンチマークと基準価額算定時の適用為替レートの差異が、マイナス要因として銘柄選択が挙げられます。

■当資料は、法令に基づく開示資料ではありません。■「明治安田DCグローバルバランスオープン」の受益権の募集については、委託会社は、法令の規定により有価証券届出書を関東財務局長に提出し、その届出の効力は発生しております。■当資料は、確定拠出年金法第24条および関連政省令に規定されている「運用の方法に係る情報の提供」に基づき、加入者のみなさまに対して、「明治安田DCグローバルバランスオープン」の内容をご説明するために作成されたものであり、当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、株式など値動きのある証券等（外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金および運用成果が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。■当資料は、明治安田アセットマネジメントが信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。■FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。